

令和7年度
近畿地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール

(有機農業・環境保全型農業部門)

オーガニックビレッジを起点とした地域循環型農業

ゆうげんがいしゃ やまぐちのうえん

有限会社 山口農園

奈良県宇陀市

主な取組

有限会社山口農園は、耕畜連携による循環型の土づくり、土壌診断に基づく施肥、防虫ネットの導入や太陽熱を利用した土壌消毒など持続可能な農業技術を確立し、有機JAS規格が制定された平成12年にいち早く認証を取得。現在10ha171棟のハウス全てにおいて有機JAS認証を受け、ホウレンソウ、コマツナなどの軟弱野菜やハーブ類を輪作体系と周年栽培により安定供給している。

平成17年に法人化し、生産・調製・販売業務等の完全分業化により計画生産、計画販売の体制を確立し、経営効率の向上と規模拡大を実現した。平成22年、職業訓練校として「オーガニックアグリスクールNARA」を開講。研修生の新規就農に際しては、農地の確保や販路の支援も行っている。

平成25年、山口農園とスクールの卒業生からなる山口農園グループを発足し、農地の幹旋や資材の共同購入、販路の支援をおこないつつ、有機農産物を安定供給できる体制を整備した。

全国に先駆けてオーガニックビレッジ宣言を行った宇陀市において、地域の中心的な役割を務め、行政や他の有機農業者と連携し、地域ブランド力向上と有機農業の普及拡大に貢献している。



農林水産省
近畿農政局